

資料1 第3回検討協議会（1/17）での主な論点

1. 主な意見

(1) 都市マスタープランの構成について

① 全体構成

- 都市マスは都市計画的な事項の説明をしていくものではあるが、文化、歴史、学術など文京区の特徴を入れ込むことで、何を目的にした都市計画であるかがわかる記載ができるとよい。区が策定した他の計画と重なる部分があってもよいのではないか。例えば、世界に開かれた文京区とか、歴史、文化、学術を大事にする文京区や、お年寄りを大事にする文京区などのキャッチフレーズを設定し、それを実現するために都市計画としてやっていくべき方針が示されるとストーリー性がある。→文京区が持つ歴史性を都市計画に入れ込むことで地域らしさが出てくる。都市マスの書き方そのものを検討できるとよいのではないか。（村木委員）
- 取組が非常に多く、今後10年間で何を積極的に進めるかがわからない。後半の計画であるため、優先順位をもった計画としてもよいように感じる。書いてあることは全てやると捉えられることも当然であり、積極的に進めるものを明確にしたほうが区民にとってもわかりやすく、かつ庁内調整もしやすい。（村木委員）
- 総論として文京区がどうしたらいいのかというメッセージをしっかりと掲げ、そのために何をやっていくのかという起承転結があったほうがわかりやすい。（福富委員）

② 横断的整理

- 脱炭素については、土地利用、交通、緑、住宅等の各分野に関係してくるため、部門別に入る前に記述して、各部門でやるべきことを記載するという構成に変えたほうがよい。（村山委員）
- 分野横断でやるものは、各分野で記載するとその要素が見えづらくなる。関係部署がやらなければいけないと認識できる書き方になっていることが重要であり、横断的整理をしている章・節があってもよいだろう。（村木委員）
- 避難場所（防災）と公園（緑と水）など、部門別方針間でも依存関係があるものがあるように感じる。それらを踏まえた全体の将来像があると分かりやすい。（高橋委員）

③ 進捗管理・評価について

- 進捗管理については、どのような形でやっていくか検討する必要があるだろう。（村木委員）
- 進捗管理については、前回から何が進んで何ができていないかを整理・評価しなければ検討ができない。（谷口委員）
 - 何も変わっていないのか、やったけど変わらなかったのか、そこを明確にしておく必要がある。（村木委員）
 - 例えば、自転車レーンの整備は進んだように感じており、そこは評価すべき点だ

ろう。その根拠として、この間にどれだけ自転車レーンの整備が進んだのかがわかる図面などのデータが必要である。(村山委員)

- この10年間、都市マスに沿って具体的にどんなことをやってきたかのリストアップが必要である。(福富委員)
- この10年でできたことと今後10年20年の目標・ビジョンを別の図で整理し、説明してほしい。(福本委員)

④ 拠点について

- ・ 現行都市マスでは、居住者・就業者・来訪者の視点が書かれているが、拠点の設定は内向きの視点しかないように感じる。文京区は、学術、スポーツ、医療など日本の中でもトップクラスの機能が集積しており、来訪者向けの拠点があるように感じる。各地域に拠点があり、区役所が真ん中にあるような地方都市型の都市構造は文京区には適さない。(谷口委員)
- ・ 文京区の拠点は区界にある。都心区であることも踏まえると、隣接区となる周辺のことも書いていけるとよい。(村木委員)
 - 湯島三丁目は地権者によるまちづくりの動きがあるため、拠点として位置付けるべきである。(村山委員)
- ・ 幹線道路沿道の商業集積を強調したほうがよく、将来都市構造でも位置付けていくことを検討していくべきであり、現行の将来都市構造図は見直しが必要である。(村山委員)

(2) 部門別の方針の見直しについて

- ・ 方針の記載について、「～など」、具体的な言葉が入っていると、区民にとってわかりやすい計画になるだろう。(綾井委員)
- ・ 前回の人口推計から比べると人口減少が推測されるため、まちを取り巻く背景が大きく変わってく視野も必要である。(一針委員)
- ・ 近年、大学は高度利用が進んでいるなかで、区内の複数の大学キャンパスはいずれも住宅市街地/低中層市街地に位置している。この位置づけが前提であると機能更新がしづらい部分があるがどう理解すればよいのか。
 - 都市マスの土地利用方針図=用途地域図ではないため、キャンパスの部分は色を塗らず、個別で協議していくという考え方もあるかもしれない。(村木委員)
 - 大学については、ハードだけでなくスタートアップなどのソフトも含めて、まち全体で大学の機能を支えるという意思表示をすると良いだろう。(福富委員)

(3) その他

- ・ 地域別構想の検討を踏まえ、全体構想で反映すべき内容も出てくるように感じる。この協議会における検討のロードマップを提示してもらえると、どこの議論をしているのかがわかりやすくなる。(福本委員)

3. 主なご意見に対する対応

ご意見		対応
1	<p>1. 部門別にみる新たな視点及び取組の追加</p> <p>都市マスは都市計画的な事項の説明をしていくものではあるが、文化、歴史、学術など文京区の特色を入れ込むことで、何を目的にした都市計画であるかがわかる記載ができるとよい。区が策定した他の計画と重なる部分があってもよいのではないか。</p> <p>例えば、世界に開かれた文京区とか、歴史、文化、学術を大事にする文京区や、お年寄りを大事にする文京区などのキャッチフレーズを設定し、それを実現するために都市計画としてやっていくべき方針が示されるとストーリー性があるといい。</p> <p>文京区が持つ歴史性を都市計画に入れ込むことで地域らしさが出てくる。都市マスの書き方のものを検討できるとよいのではないか。</p>	<p>○現行プランでは、「2章魅力にあふれるまちをめざして」において居住者・就業者・来訪者の3つの視点から10の魅力要素を抽出したうえで、「豊かな緑と変化に富んだ地形のなかに歴史と文化が香るまち」という魅力の特徴を掲げる。見直しでもこの特徴を意識しながら、方針を検討していく。</p>
2	<p>取組が非常に多く、今後10年間で何を積極的に進めるかがわからない。後半の計画であるため、優先順位をもった計画としてもよいように感じる。書いてあることは全てやると捉えられることも当然であり、積極的に進めるものを明確にしたほうが区民にとってもわかりやすく、かつ庁内調整もしやすい。</p>	<p>○「はじめに」において、社会情勢の変化等合わせて、見直しにあたる視点をまとめる。</p> <p>○4章部門別の方針については、これらの視点に対応する箇所に、魅力・人口増・脱炭素・災害対応のアイコンを附して関連が区民にとってもわかりやすい表現にする。</p> <p>○なお、都市マスタープランは、長期的な視点でまちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を明らかにし、まちづくりのガイドラインの役割を果たすものであるため、優先順位については記載しない。積極的に進める個別事業等については、文の京総合戦略との整合を図る。</p>
3	<p>総論として文京区がどうしたらいいのかというメッセージをしっかりと掲げ、そのために何をやっていくのかという起承転結があったほうがわかりやすい。</p>	<p>○「はじめに」において、見直しにあたる視点をまとめる。</p> <p>○都市マスタープランの構成を示し、目標や将来像、それを達成するための4章部門別の方針、5章地域別の方針、それらの実現に向けた6章実現に向けてなどの関係性を視覚的にまとめる。</p>
4	<p>脱炭素については、土地利用、交通、緑、住宅等の各分野に関係してくるため、部門別に入る前に記述して、各部門でやるべきことを記載するという構成に変えたほうがよい。</p>	<p>○今回の見直しにおける4つの視点の中の一つとして、③脱炭素社会に向けた対応を追加する。</p> <p>○4章部門別の方針の6つの方針における各項目と、見直しの4つの視点を一覧表で整理する。</p> <p>○4章部門別の方針では、記載する項目ごとに脱炭素を含めた4つの見直しの視点(魅力、人口増、脱炭素、災害対応)のアイコンを附して、関連が分かるようにする。</p>
5	<p>分野横断でやるものは、各分野で記載するとその要素が見えづらくなる。関係部署がやらなければいけないと認識できる書き方になっていることが重要であり、横断的整理をしている章・節があってもよいだろう。</p>	<p>○分野横断的な対応が求められる重要なものは、今回の見直しにおける視点として4つにまとめ、部門別の記載に、魅力、人口増、脱炭素、災害対応のアイコンを附して関連が分かるようにする。</p>
6	<p>避難場所(防災)と公園(緑と水)など、部門別方針間でも依存関係があるものがあるように感じる。それらを踏まえた全体の将来像があるとわかりやすい。</p>	<p>○同上</p>
7	<p>進捗管理については、どのような形でやっていくか検討する必要があるだろう。</p>	<p>○評価や進捗管理の方法については、引き続き検討を進め、1回目のオープンハウス型説明会とパブリックコメント終了後、第5回の協議会で資料を示して協議する予定。</p>
8	<p>進捗管理については、前回から何が進んで何ができていないかを整理・評価しなければ検討ができない。</p>	<p>○「1-(2)これまでの成果と今後の課題」で概要を記載する。また、区民意識調査結果も評価の参考になると考えている。</p> <p>なお、参考に、文の京総合戦略の進行管理(関連部分)を資料としてお示しする。</p>

ご意見		対応
9	この10年間で何も変わっていないのか、やったけど変わらなかったのか、そこを明確にしておく必要がある。	○同上 (自転車通行空間の整備状況は、第二回協議会参考資料1 文京区都市概況 P38,P39)
10	例えば、自転車レーンの整備は進んだように感じており、そこは評価すべき点だろう。その根拠として、この間にどれだけ自転車レーンの整備が進んだのかわかる図面などのデータが必要である。	
11	この10年間、都市マスに沿って具体的にどんなことをやってきたかのリストアップが必要である。	○文の京総合戦略の都市マス関連部分の進行管理(関連部分)を参考資料で添付する。
12	この10年でできたことと今後10年20年の目標・ビジョンを別の図で整理し、説明してほしい。	○「1-(2)これまでの成果と今後の課題」で概要は記載している。また、区民意識調査結果も評価の参考になると考えている。 なお、参考に、文の京総合戦略の進行管理(関連部分)を資料としてお示しする。 ○また、数値データを取りまとめた課題図を第5回協議会でお示しする予定。
13	現行都市マスでは、居住者・就業者・来訪者の視点が書かれているが、拠点の設定は内向きの視点しかないように感じる。文京区は、学術、スポーツ、医療など日本の中でもトップクラスの機能が集積しており、来訪者向けの拠点があるように感じる。各地域に拠点があり、区役所が真ん中にあるような地方都市型の都市構造は文京区には適さない。	○「3-2まちの将来構造」における拠点は、上位計画である東京都都市計画区域マスタープランに基づいている。 ○「3-2まちの将来構造」において、区周縁部に位置し、隣接区のまちづくりにも配慮し、まちづくりを検討することが求められる拠点として、新たに『隣接周辺拠点』の位置づけを行うことを考えている。
14	文京区の拠点は区界にある。都心区であることも踏まえると、隣接区となる周辺のこと書いていけるとよい。	○「3-2まちの将来構造」において、区周縁部に位置し、隣接区のまちづくりにも配慮し、まちづくりを検討することが求められる拠点として、新たに『隣接周辺拠点』の位置づけを行う。 ○また、湯島三丁目地区は、まちづくりの具体的な動きを踏まえ、隣接する上野・浅草の拠点と合わせる形で位置づけを検討する。
15	湯島三丁目は地権者によるまちづくりの動きがあるため、拠点として位置付けるべきである。	
16	幹線道路沿道の商業集積を強調したほうがよく、将来都市構造でも位置付けていくことを検討していくべきであり、現行の将来都市構造図は見直しが必要である。	○5章地域別の方針の(3)まちづくり方針1)拠点のまちづくりの図に示す通り、拠点については一定の範囲で幹線道路沿道も含めている。 ○また、幹線道路沿道の商業地集積については、「4部門別方針4-1土地利用方針(2)土地利用に関する基本方針」において、都心複合市街地、拠点商業地、沿道型複合市街地等で商業機能の誘導等を記載している。 ○将来都市構造図の主要ネットワーク軸は、拠点や沿道における商業機能の集積などにより、活力と賑わいのある都市活動を支える旨を記載する。
17	2. 見直しの方向性 方針の記載について、「～など」、具体的な言葉が入っていると、区民にとってわかりやすい計画になるだろう。	○個別の例示は本文中に記載(例えばP79の東京大学の機能更新)し、一般的な例(例えばP46⑤公共公益施設・大学等教育施設)は欄外に記載する方向で検討する。
18	前回の人口推計から比べると人口減少が推測されるため、まちを取り巻く背景が大きく変わってく視野も必要である。	○見直しの視点のひとつ、②人口構造変化への対応として記載内容を検討していく。
19	近年、大学は高度利用が進んでいるなかで、区内の複数の大学キャンパスはいずれも住宅市街地/低中層市街地に位置している。この位置づけが前提であると機能更新がしづらい部分があるがどう理解すればよいのか。	○大規模敷地における土地利用については、必要に応じた都市計画の合理的な見直しや地区計画等の検討により適切な機能更新を図っていくことを方針で示す。 また、高さについても新たに「建築物の高さに関する方針図」で大規模敷地の対象となる公共公益施設・教育施設の区域を明示するとともに、必要に応じて市街地の区分とは別に建築物の高さを設定できることを方針で示す。

ご意見		対応
20		都市マスの土地利用方針図＝用途地域図ではないため、キャンパスの部分は色を塗らず、個別で協議していくという考え方もあるかもしれない。
21		大学については、ハードだけでなくスタートアップなどのソフトも含めて、まち全体で大学の機能を支えるという意思表示をすると良いだろう。
22	3. その他	地域別構想の検討を踏まえ、全体構想で反映すべき内容も出てくるように感じる。この協議会における検討のロードマップを提示してもらえると、どこの議論をしているのかがわかりやすくなる。
		○同上
		○大学とのさらなる連携や、スタートアップなどのソフトについては、都市マスタープラン以外で検討していく予定。
		○本協議会（第4回協議会）にて、地域別方針も含めて中間まとめ（案）について議論し、パブリックコメントやオープンハウス型説明会を行い、区民意見を募る予定。
		○第4回の協議会の意見も含め、これまでの協議会の意見を再度整理し、パブリックコメント等の意見も整理して「見直し素案」を作成し、実現化に向けた進行管理も含め、第5回以降の協議会で議論していただく予定。
		○具体的なスケジュールについては、本協議会（第4回協議会）の資料で示す。